

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	作物学各論 I [Crop Science, Part 1]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	710037	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	廣瀬 大介			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1)		
授業概要	我が国の農業は、多様化が進んではいますが、依然、水稲が基幹作物となっています。このため日本の農業を知る上で、水稲の種類、栽培状況、生理・形態特性あるいは栽培方法などを熟知することは重要と考えられます。そこで本講義は、水稲の分類、栽培状況、生理生態的特性、さらには栽培管理方法を理解することを目的に行います【知識・理解の育成】。						
関連する科目	受講前に作物栽培学を受講していることが望ましい。						
授業の進め方と方法	一般的な講義方式で行います。また、必要に応じてパワーポイントを利用しながら講義を進めていきます。						
授業計画	第1回:種類 水稲の種類について学びます。 第2回:形態的特性Ⅰ(根と茎) 第3回:形態的特性Ⅱ(葉と穂) 水稲の形態的特性について学びます。 第4回:生理生態的特性Ⅰ(発芽) 第5回:生理生態的特性Ⅱ(根) 第6回:生理生態的特性Ⅲ(茎) 第7回:生理生態的特性Ⅳ(葉) 第8回:生理生態的特性Ⅴ(穂) 水稲の生理生態的特性について学びます。 第9回:栽培管理Ⅰ(選種、浸種) 第10回:栽培管理Ⅱ(播種、育苗) 第11回:栽培管理方法Ⅲ(本田の耕起、整地) 第12回:栽培管理方法Ⅳ(施肥、田植え) 第13回:栽培管理方法Ⅳ(本田の水管理) 水稲の栽培方法について学びます。 第14回:収穫、乾燥及び調整 水稲の収穫及び収穫後について学びます。 第15回:玄米の品質 玄米の等級について学びます。						
授業の到達目標	水稲の形態的特性、生理特性および基本的な栽培方法を理解することを目標としています。						
授業時間外の学修	毎回、復習を重点的にを行い、各講義内容を十分理解することに努めて下さい(予習30分、復習2時間(最大))						
課題に対する フィードバック	定期試験後、模範解答を示します。	評価方法		定期試験(100点)			
テキスト	必要に応じて配布します。						
参考書	新編 食用作物、イネつくりの基礎、イネの品種 特性と栽培のポイント、稲作全書(1)～(3)						
備考							